

支出命令書

決裁日 27年 11月 5日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所 属		市議会事務局		起票日	平成27年11月5日	整理番号	5481-4
年 度		平成27年度	会 計	一般会計		予算区分	現年度予算
款	1	議 会 費				確 認 事 項	確 認
項	1	議 会 費				タイムカード(出勤簿)	
目	1	議 会 費				源 泉 徴 収	
細目	4	議会調査研究事業				被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金				通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費					
金 額		¥16,500				検収者 印	
控除額						支払方法	通常支払
債 権 者	登録No. 99999					支払区分	窓口払い、 1.現 金 2.小 切 手
	住 所					金融機関	
	名 称 井阪 正信					支 店	
	職氏名					預金種別	
						口座番号	
						伺 残 額	¥271,480
摘 要	研究研修費					支払予定日	平成27年11月16日
	11/17～11/19 第10回全国市議会議長会研究					支 払 明 細 整 理 番 号	001
	フォーラム参加負担金及び視察参加負担金					請求書番号	

上記の金額を領収しました。
平成 27年 11月 16日
年 月 日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名

井阪 正信

収入印紙



支出負担行為確認



支 払 済



2015000548101048

泉大津市



27.11.-5

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成27年 11 月 5 日

泉大津市長
伊 藤 晴 彦 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名

代表者名

井阪 正信



政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	16,500円		
内 訳	11/17～11/19 福島市 第10回全国市議会議長会研究フォーラム参加負担金及び視察参加負担金		
支 払 先	(株) JTB東北		
予 算 科 目	研究研修費	交 付 残 額	271,480円
使 用 者 名	井阪 正信		

■定員

2,000 名

※大ホールは定員 1,600 名で、議長については申込みの先着順（議長の優先申込期間の申込みに限る）に大ホールでの参加となります。なお、それ以外の申込者については、抽選の結果に基づき順次大ホールでの参加となります。

※抽選による大ホールの参加者が満員になり次第、抽選の結果に基づきライブ中継会場（定員 400 名）での参加となります。ただし、大ホールの参加については、副議長又は議員を優先させていただきます。

※議会事務局職員の申込みにつきましては、各市区につき 1 名を限度とさせていただきます。

※ライブ中継会場（定員 400 名）が満員となりましたら、キャンセル待ちでの受付となりますのであらかじめご了承ください。

■参加費

1 人 7,000 円

◇お問い合わせ先◇

【研究フォーラム運営について】

全国市議会議長会 調査広報部 担当：篠田、本橋

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-2 全国都市会館 6 階

TEL：03-3262-2303

【交通・宿泊について】

株式会社JTB東北 地域交流・^{マイス}MICE事業部 ^{マイス}MICEセンター

「第 10 回全国市議会議長会研究フォーラム in 福島」係 担当：星、樋野、佐藤

〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町 1-4-1 明治安田生命仙台ビル 4 階

TEL：022-208-5430 FAX：022-263-7481

E メールアドレス：shigikai2015fukushima@th.jtb.jp

営業時間：9 時 30 分～17 時 30 分（土日・祝祭日は休業）

福島市においては、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故からの復興へむけ全力で取り組んでおります。

全国の議員の皆様にも、福島状況をご理解いただくため、福島市にお越しいただくことが何よりの復興支援になるものと考えております。参加される皆様のため、「おもてなしの心」を持って皆様をお迎えしたいと考えておりますので、是非、ご案内の温泉旅館を含めた宿泊施設等をご利用ください。

福島市議会議長 佐藤 一好

< 参加・宿泊・交通のお申込み >

P.8～9 の「参加申込みのご案内」をご参照の上、「第 10 回全国市議会議長会研究フォーラム in 福島 参加申込書」に必要事項をご記入いただき、E メール（FAX・電話でのお申込みは不可）にてお申込みください。

< 視察のお申込み >

第 2 日目（11/19）の閉会式終了後、視察コースを設定しています。P.12～16 の「視察プランのご案内」をご参照の上、「第 10 回全国市議会議長会研究フォーラム in 福島 参加申込書」の「視察」の欄にご希望を明記してください。

F 相馬市／東日本大震災被災地の現状視察

【日帰り】

コースポイント 震災被災地として、相馬市内を地元ボランティアガイドの詳しい説明とともにご案内いたします。相馬市の震災当時の状況や、復興状況、今後のまちづくりについてご説明いたします。

■募集人員：40名 ■最少催行人員：30名 ■旅行代金（お一人様あたり）：9,500円 ■食事：昼食1回
■旅行代金に含まれるもの：貸切バス代（ガイド付き）、昼食代、入場料、添乗員費用 ■添乗員：同行します

11/19 (木)	福島県文化センター ===== (車中弁当) ===== ○相馬市被災地視察 =====
	11:30 13:00 15:00
	===== JR福島駅
	16:50

【相馬市被災地視察】約1時間30分の視察コースを巡ります。相馬市観光協会のボランティアガイド同行のもと、震災当時の状況や、復興状況をご案内いたします。

G 二本松市・郡山市・白河市／復興再生事例視察

【日帰り】

コースポイント 原発事故後、二本松市へ移転し営業を再開した工房の見学や、再生可能エネルギー、白河の文化財保護の状況視察など、多岐にわたるテーマでご視察していただきます。

■募集人員：40名 ■最少催行人員：30名 ■旅行代金（お一人様あたり）：8,500円 ■食事：昼食1回
■旅行代金に含まれるもの：貸切バス代（ガイド付き）、昼食代、入場料、添乗員費用 ■添乗員：同行します

11/19 (木)	福島県文化センター ===== (車中弁当) ===== ◎陶芸の杜おおぼり二本松工房 =====
	11:30 12:40 13:40
	===== ◎福島再生可能エネルギー研究所 ===== ◎白河小峰城 ===== JR新白河駅
	14:20 15:20 16:30 17:00 17:10

【陶芸の杜おおぼり二本松工房】大堀相馬焼協同組合は、原発事故により避難を余儀なくされ産地での作陶ができなくなりましたが、二本松市の協力を得て二本松市小沢工業団地に「陶芸の杜 おおぼり 二本松工房」として再開しました。新たな施設は、展示室・事務室・会議室・陶芸教室・ろくろ場・釉薬かけ物置・仮眠室・窯場などを備えた床面積約720㎡の仮設工房です。伝統的工芸品である「大堀相馬焼」の維持・継承と、離散した窯元、浪江町民をつなぐ拠点、ふるさとを想ういこいの場の役割も果たすことが期待されています。

【福島再生可能エネルギー研究所】政府の「東日本大震災からの復興の基本方針」（平成23年7月）等を受け、平成26年4月に開所しました。「世界に開かれた再生可能エネルギーの研究開発の推進」と、「新しい産業の集積を通じた復興への貢献」を大きな使命とし、各種再生可能エネルギーの技術開発等の研究のほか、産学官の連携も積極的に推進することで、国内外から集う様々な人々と共に新技術を生み出し発信する拠点を目指しています。

【白河小峰城】小峰城の歴史や震災で崩れた石垣の文化財保護と復旧状況についてご案内します。

支出命令書

決裁日 27 年 11 月 5 日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所 属	市議会事務局	起票日	平成27年11月5日	整理番号	5481-5
年 度	平成27年度	会 計	一般会計	予算区分	現年度予算
款	1	議 会 費	確 認 事 項	確 認	
項	1	議 会 費	タイムカード(出勤簿)		
目	1	議 会 費	源 泉 徴 収		
細目	4	議会調査研究事業	被服貸与台帳記載		
節	19	負担金、補助及び交付金	通勤経路及び金額		
細節	45	政務活動費			
金 額	¥82,860			検収者	印
控除額				支払方法	通常支払
債 権 者	登録No. 99999	支払区分	窓口払い	1.現 金	
	住 所	金融機関		2.小 切 手	
	名 称 井阪 正信	支 店			
	職氏名	預金種別			
		口座番号			
		伺 残 額		¥188,620	
摘 要	旅費	支払予定日	平成27年11月16日		
	11/17~11/19 第10回全国市議会議長会研究	支払明細 整理番号	001		
	フォーラム参加旅費	請求書番号			

上記の金額を領収しました。
平成 27 年 11 月 16 日
年 月 日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 井阪 正信

収入印紙



支出負担行為確認



支 払 済



2015000548101057

泉大津市



27.11.-5

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成27年 11 月 5 日

泉大津市長
伊 藤 晴 彦 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名
代表者名 井阪 正信  印

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり
政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	82,860円		
内 訳	11/17～11～19 福島市 第10回全国市議会議長会研究フォーラム 参加旅費		
支 払 先	井阪 正信		
予 算 科 目	旅 費	交 付 残 額	188,620円
使 用 者 名	井阪 正信		

平成27年度

出張申請書

(出張)

会派名			氏名	井阪 正信				
出発・帰庁年月日		出発 27年11月17日			帰庁 27年11月19日			
出張先(順路) 福島県文化センター(福島県福島市春日町5-54)								
目的及び用件 第10回全国市議会議長会研究フォーラムin福島に参加								
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 440	円	円	円	円	円	円
" (地下鉄御堂筋線) 新大阪		280						280
" (東海道新幹線) 東京	556.4 783.1	10,800	特急 (のぞみ) 5,700	閑散期 △ 200				16,300
" (東北新幹線) 郡山	226.7		特急 (やまびこ) 4,200	閑散期 △ 200	2泊 30,000	3日 10,500		44,500
" 福島		郡山から研修会場、研修会場から福島駅までは、主催者側が用意したバスを利用する。						
" (東北新幹線) 東京	272.8 829.2	11,120	特急 (やまびこ) 4,200	閑散期 △ 200				15,120
" (東海道新幹線) 新大阪	556.4		特急 (のぞみ) 5,700	閑散期 △ 200				5,500
" (地下鉄御堂筋線) 難波		280						280
" (南海本線) 泉大津		440						440
							計	82,860

主管課用

平成27年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名			氏名	井阪 正信				
出発・帰庁年月日		出発 27年11月17日		帰庁 27年11月19日				
出張先(順路) 福島県文化センター(福島県福島市春日町5-54)								
目的及び用件 第10回全国市議会議長会研究フォーラムin福島に参加								
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 440	円	円	円	円	円	円 440
" (地下鉄御堂筋線) 新大阪		280						280
" (東海道新幹線) 東京	556.4 783.1	10,800	特急 (のぞみ) 5,700	閑散期 △ 200				16,300
" (東北新幹線) 郡山	226.7		特急 (やまびこ) 4,200	閑散期 △ 200	2泊 30,000	3日 10,500		44,500
" 福島		郡山から研修会場、研修会場から福島までは、主催者側が用意したバスを利用する。						
" (東北新幹線) 東京	272.8 829.2	11,120	特急 (やまびこ) 4,200	閑散期 △ 200				15,120
" (東海道新幹線) 新大阪	556.4		特急 (のぞみ) 5,700	閑散期 △ 200				5,500
" (地下鉄御堂筋線) 難波		280						280
" (南海本線) 泉大津		440						440
							計	82,860

右の金額領収いたしました。

平成 年 月 日

泉大津市会計管理者 殿

金額

¥ 8 2 8 6 0

職名

氏名 井阪 正信



□決 裁 ■供 覧

受 発 記 号 ・ 番 号				収受年月日	平成27年12月11日			
差 出 名		井阪 正信						
あ て 名		泉大津市議会議長				提出期限		
収 受 文 書 の 記 号				収受文書の日付	平成27年12月11日			
件 名		報告書						
議長		副議長		事務局長		次長		合
								
主 管	次長補佐	議事調査係長		庶務係長		主査		議
								
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項								
日 時：平成27年11月17日（火）～11月19日（木） 出張先：福島県福島市、相馬市 目 的：第10回全国市議会議長会研究フォーラムin福島に参加								

会派代表

報 告 書

平成 2 7 年 1 2 月 1 1 日

泉大津市議会議長 様

(会派名)

出張者氏名 井阪 正信



下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

- 1.日 時 平成 2 7 年 1 1 月 1 7 日 (火) ～ 1 1 月 1 9 日 (木)
- 2.出 張 先 福島県福島市・相馬市
- 3.目 的 第 1 0 回全国市議会議長会研究フォーラム in 福島
参加の為
- 4.報告事項 別紙資料 参照
添付資料 ※東日本大震災の記録写真と復興・再建へ
※東日本大震災からの復興
※福島県相馬市 概要

所 見

第10回全国市議会議長会研究フォーラムにおいて、「大震災から復興と備え」をテーマに熊本県立大学理事長 五百端頭 真 氏の基調講演を拝聴いたしました。基調講演においては、私自身が交流のある、被災地の岩手県釜石市の事例が多く取り上げられていました。

「釜石の奇跡」の事例等、当時の状況等の講演内容は、大変中身の濃い物でした。また、現在の備えなども聞かせていただきました。

私自身も、被災地の釜石市の方から今回の講演内容とほぼ同内容のお話を聞いていたこともあり、より理解を深める一助となりました。

第2部のパネルディスカッションでは、「震災復興・地方再生の課題と自治体の役割」をテーマしておこなわれました。

「自治体と議会の役割は何か」という点において

- 1 地方創生戦略の実践は、自治体にとってひとつの運動であり、流れをつくる持続的な活動としてとらえる必要がある。そのためには、KPIやモニターの仕組みをうまく使い、戦略の実行・検証・改善を繰り返していく必要がある。
- 2 自治体職員が各々の部署で地方創生戦略にコミットメントする必要がある。戦略の実行性とコミットメントの担保が重要である。また、特に若手・中堅職員のモチベーションを高めることが持続力を高めるカギとなる。
- 3 議会は復興のアクセルとなっているというより、むしろブレーキとなっているという声を聞くことがある。議会のチェック・監視機能が重要なことは言うまでもないが、議会自体にもタテ割りや利益代表を助長し、復興と地方創生の流れを弱めている側面がないか自己点検してみる時期に来ている。

としています。

二日目の課題討議は「震災復興と議会～現場からの報告」をテーマに河村和徳 東北大学情報科学研究科准教授をコーディネーターに迎え、被災地の陸前高田・気仙沼・南相馬市の各市議会議長からの報告でした。

閉会后、相馬市へ東日本大震災被災地の現状視察を行いました。まだまだ復興途上である部分と、建て替えなどにより、新しくなっているものが混在していました。（画像添付）





